



STOP! 介護崩壊 介護ウェーブ2011推進ニュース

—介護ウェーブの“Big Wave”をおこそう！—

新方針「介護ウェーブ2011後半戦の方針」を具体化し介護改善要求の声を国会に届けよう！

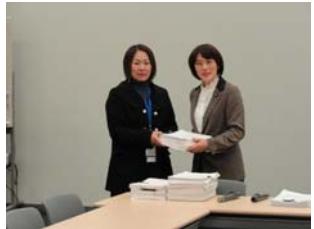
署名活動の実践や改善要求を訴え続けることの重要性を感じた！

介護ウェーブ国会行動(11月22日)で衆参の厚労委員51名に改善要請

「介護ウェーブ国会行動」に、9県連（茨城2名、千葉2名、東京5名、神奈川7名、長野2名、福井2名、静岡3名、兵庫2名、福岡2名）から関係者も含め31名が参加し、衆参の厚生労働委員51名を訪問して、「改正」介護保険の改善を要請しました。

激励に訪れた田村智子議員（参議院議員・日本共産党）は、介護保険料が全国平均で5,000円に近づいていることに対し、「介護保険制度が始まった2000年当時の全国平均2,900円と比べ、大変な引き上げになっている」と指摘し、国や厚労省の議論では、「介護保険料を上げるのか、または給付の重点化をするのかといった、枠内でのつじつま合わせで、国庫負担を引き上げる発想がない」と問題点を示し、国庫負担の引き上げの必要性を強調しました。また、この間の政権与党が財界の言いなりで進めてきた「大企業への減税」「庶民には増税」の政策に対し、国民生活が改善していない実態や、アメリカやヨーロッパの大企業の創設者一族等の資産家が、自らに増税を求めている動き等があることから、日本でも大企業、資産家が自ら増税の声を上げるような国民運動を起こしていく取り組みの必要性を強調しました。その上で、「まともな給与をもらって、働いて、家庭を持って、マイホームを持つ等、将来が見えないと日本は良くならない。ぜひ、職種や立場のちがいを超えて、儲けるためには手段を選ばない国や財界の姿勢にストップをかけるよう、共に頑張っていこう」と呼びかけました。この日は、全国の利用者・家族などの想いが詰まった署名17,719筆を田村議員に託しました。

参加者から、「利用者と現場で働く私たちの声をもっと上げて運動を続けていくこと、署名活動の実践や改善要求を訴え続けることの重要性を感じた」、「利用者・家族が必要なサービスを受けることができる介護保険制度になるまで、介護ウェーブの取り組みをがんばっていきたい」等の感想が出されました。



■ 「介護ウェーブ国会行動」次回の日程

○ 2011年12月13日（火）13:30～16:30

現場から事例を持って参加し制度改善の声を届けよう！

11月11日「介護の日」行動に16名が参加し署名200筆！(岩手)



岩手民医連では昨年に引き続き、盛岡市中心部で「11.11 介護の日」行動に取り組みました。ケアマネジャーやヘルパーを中心に 16 人が参加し、昼の 1 時間足らずで約 200 筆の介護署名が集約されました。

岩手県内の特養待機者は約 6000 人。そのうち、要介護度が高かったり家族介護が困難なため、「早期入所」を必要としている人は 1200 人以上にものぼっています。この数は、大震災・津波による沿岸部の待機者の死亡や被害を免れた施設が定員超過で受け入れているため、1 年 4 カ月前に行った調査とほぼ同数となっています。署名に協力してくれた市民から、「施設に入りたくてもすぐに入れない」「これ以上介護保険料が高くなれば生活が大変」「家族が介護施設で働いている。頑張ってください」等の声が寄せられました。

(2011 年 11 月 11 日 岩手民医連より)

11月11日「介護の日」に自治体交渉、宣伝署名行動で制度改善を訴える(徳島)

11 月 11 日の午前は、自治体キャラバン「介護保険制度に関する要望書」に基づいて他団体と共同で、徳島民医連から 4 名の介護職員も参加し、対市交渉を行いました。その中で、事例を通して利用者・家族の状況や、介護現場の状況を訴えました。介護保険料については、基金の取り崩し等により上昇を抑えたいと考えていることや、介護予防・日常生活支援総合事業の導入は検討中はしているが、行うべきではないとの回答でした。午後からは、在宅介護事業所を中心に「介護の日」の行動を行い職員と理事 25 人が参加しました。当日は朝からの雨で「行動ができるだろうか?」「中止しなければならないか?」等、気が気でませんでした。しかし、昼過ぎから時おり小雨が降る程度で無事、徳島駅前でハンドマイクで訴え、署名活動を行うことができました。肌寒く道行く人もまばらでしたが、1 時間程度の宣伝行動で署名 126 筆を集めることができました。一部の方は、ハンドマイクの訴えに足を止め、聞き入ってくれる方や、進んで署名をしてくれた方もいましたが、まだまだ介護保険制度の内容について関心が薄いことを感じました。来年の改定で、介護保険制度改悪がさらに推し進められていることを、利用者、家族、市民の方に根気よく説明することや、私たちの運動を継続することが介護保険制度を利用しやすくするために重要であること等、介護ウエーブを大きなうねるにする必要があることを感じました。(2011 年 11 月 18 日 徳島民医連より)



行き届いた介護の充実を！介護の日行動に100名が参加(沖縄)



11月11日「介護の日」に、県民広場周辺で、各病院・事業所から介護職を中心に約100名近く集まり、リレースピーチ・介護改善署名活動等を行いました。リレースピーチでは、各現場からのそれぞれの思いや利用者の声を切実に訴えました。また、介護職のみならず、看護師・リハビリ・事務など様々な職種の職員も積極的に署名活動を行ってくれました。日々変化していく介護の情勢ですが、何が一番大切なかを皆で話し合

い、訴えることができた良い日（機会）だったと思います。年に一回（11月11日介護の日）だけでも良いので、皆さんぜひぜひ参加して一緒にアピール・訴えていきましょう。11月11日（いいひ・いいひ・介護の日）覚えてくださいね。（沖縄民医連ニュース 第1588号2011年11月16日より）

お問い合わせは、「介護ウェーブ推進本部」事務局：山平・名波まで

TEL 03-5842-6451 / FAX 03-5842-6460 / E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp